広報 南国
編集発行 南国市役所
電話(代表)451番
印刷所 安岡印刷所

広報は…………みんな
読むもの…………つくるもの

四億二千三百万圓

臨時議会で市税税率なども議決

南国市臨時議会は五月二十八日開会。三十五年度第一次追加更正予算、一般職の職員給与条例ならびに市税徴収条例の一部改正、財産の取得、同売買など八議案を各常任委員会に付託して審議し、三十一日原案どおり採決した。

これにより市の才入出予算は四億二千三百三十五万円(追加一億二千七十四万円)となつた。

また市税の所得割り税率は五万円以下百分の一・七、五万円を越える額同二・六、十万円を越える額同三、十五万円を越える額同三・五二十万円以上を越える額同四、三十万円を越える額同四・五、四十万円を越える額同五、七十万円を越える額同六、百万円を越える額同七となつた。

予算の内容次のとおり。(単価千円)

更正 才入出

(才入)
市税八七、〇五六(増一、五〇〇〇)地方交付税八五、〇〇〇(〇)公営企業および財産収入一四、三〇〇(増一、二〇〇)分担金および負担金九、八四一(〇)使用料および手数料一、八八九(〇)国庫支出金七四、九三二(増二五〇)県支出金一〇、四一三(同八一九)寄付金二、一六六(同六六五)市債一四、四〇〇(〇)雑収入一二三、三五〇(増一一六、二〇三)

(才出)
議会費八、七七八(増五)市役所費五五、七五〇(同二、五一二)消防費五、二一四(同二五〇)土木費二九、六六八(〇)教育費六八、〇五六(増二、四一二)社会および労働施設費八六、六六九(〇)保健衛生費五、二六〇(〇)産業経済費八、九二一(増六二三)財産費二、〇七五(〇)統計調査費七七三(増二五〇)選挙費一、一八五(〇)公債費一七、四四六(〇)諸支出金一三三、五三八(増一一六、八一八)予備費九九〇(減二、一三二)

農薬から守る よい子たちを

市教育委員会は六月初め市内の小学校長あてに、児童がホリドールの中毒にかからないよう注意されたいと指示した。

現在農家は水稲の害虫駆除のため一斉にホリドール(パラチオン剤)を使用しており、無心な児童たちは危険にさらされている。

市教委では対策としてホリドールを使つたことをあらわす赤い標識の立つた田には絶対にはいらぬよう、また、稲などにさわらぬよう呼びかけることになつたもの。

アメリカで働く
中橋・高山両君旅立つ

派米農業労務者として県の選考をとおつた稲生・中橋豊、長岡・高山龍男両君はさつき晴れの五月三十日、多くの人たちに見送られて高知駅から旅立つた。両君は東京で一週間の訓練を受けてからカリホルニヤ州に渡り、三年間農業労務者として働くことになつている。

この間の収入は五、六十万円になる見込み。なお市からはすでに三十二年に渡米した永田の吉田誠夫君が帰国し、昨年は上倉内の岡田君も渡米、海外勇飛の熱は高まつている。

延滞金と延滞加算金をとる

市では三十五年度から納税期限を経過した市税については延滞金(期限の翌日から納付日まで百円に付き一日三銭の割り)と延滞加算金(督促状を出した日から十一日目より納付の日まで百円に付き一日三銭の割り)で本税に加算して徴収することを決め、実行する。

ブラジルゆきの青年をつのる

県ではブラジルにいく農村の青、壮年を次の条件で募集している。

人数＝二十人(全国)
時期＝三十五年八月
期間＝十五カ月(渡航日数をふくむ)

資格
1、現に農業に従事するか直接農業技術の指導者
2、年令二十五才以上三十五才未満の身体強健な者
3、新制高卒業または同等学力のある者
4、身長一六〇m、体重五五Kg

経費
渡航補国費四二一、五〇〇円の内国費補助二〇八、五〇〇円、二一三〇〇〇円は市町村、公共団または応募者負担とする。

応募期間
昭和三十五年六月二十日応募提出書類県必着

中央選考
三十五年六月三十日東京において身体検査作文を行う。

渡航
昭和三十五年八月一日集合、八月四日横浜出帆

準急"土佐"の停車を陳情

さる三月から土讃線で運転中の準急三一一〇、三一一〇九両列車(土佐)は後免駅に停車せず、不便が多いところから市では四月末、西村市長、野口議長名で矢山国鉄四国支社長に文書で善処方を要望していたが、地元後免町有志も立ちあがりこのほど町民代表の署名をとつて同様の陳情を行ない市発展のため実現させる準備を固めている。

……国府川土手……

被災地へ見舞

後免町社会福祉協議と大篠小学校は四日までに、チリ地震の津波で被災した人たちに見舞金を贈ることになり次のとおり高知新聞に寄託した。

社会福祉協議会一万四千七百八十円、大篠小四千五百三十円

担当部門と地区決まる
南国農業改良普及所

南国農業改良普及所では所員の担当部門と地区(小松所長全般)を次のとおり決めた。(カッコは特技)

鬼頭宗敬＝十市(そ菜園芸)西内厚＝大篠(普通作)、池内辰雄＝長岡・後免(病虫害・そ菜園芸)、島内善二郎＝日章・前浜(畜産・そ菜園芸)、島崎準一郎＝野田・岩・大津(そ菜園芸)、武市潔＝三和・稲生(普通作)、岩崎和＝岡豊・瓶岩(果樹)小笠原一猪＝久礼田・上倉(普通作)、関田友茂＝介良(病虫害)、山本常美＝国府(同)、橘田政猪＝岡豊・瓶岩・久礼田・国府(生活改善＝以下同)。吉村政美＝大篠・三和・前浜・稲生。安野節＝日章・十市・大津・介良。森国千恵子＝長岡・上倉・後免・野田・岩

学校統合審議会をつくる

市内の小、中学校統合を研究調査するための学校統合審議会は近く組織されることになり市教委で準備を進めている。

なお発足は六月議会で条例を決めなくてはならないから月末以後になるもよう。

文化財研究会発足

市では郷土史研究会や文化財保存会その他各地区の研究家によつて、南国市文化財研究会を結成した。

市内には史蹟、文化財、天然記念物など貴重な資料が沢山あるが、これらの保存と施設の整備をするとともに先人の残した文化の跡を探究して市の文化向上と観光面に尽すのが狙いだ。

役員次のとおり。

会長＝岩村元治(大篠)副会長＝浜田勇(日章)公文幸夫(国府)運営委員＝田中管雄(岡豊)島本保義(瓶岩)山中浩気(後免)山島豊茂(長岡)山本丑吉(立田)井上可澄(稲生)会計＝山本知一(教委)監査＝西村信久(岡豊)浜田春水(前浜)

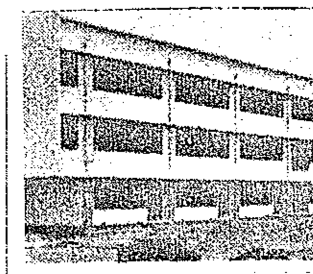
香長中(一期工事)完成

総工費二千九百万円で工事中の香長中学校一期工事はこのほど完成し、稲生、十市両分室の生徒三百六十人が収容され、楽しい学園生活を送つている。

新校舎は鉄骨コンクリートの三階建で普通教室九、特別室一、管理室四の計十四室。

四国ではここだけという新しい建築様式が取り入れられている。

なお第二期工事も近く行なわれることとなり工費二千七百四十八万六千円が予算化されており、完成すれば大篠、三和両分室の生徒が収容される。



＝写真は新装の香長中学校

会長に市長
嶺南会再発足

南国市発足前の旧町村の官公庁、各種団体代表、有志の一部で組織されていた「嶺南会」は、市発足とともに解消状態にあつたが、再組織の声が起りさる十一日、組織を強化して発足した。

新会長は市長の西村諸之氏、副会長二人は七月定例会(第一水曜日)までに会長と田岡同会事務局長が選考する。

こんどの会も親睦をふかめるとともに市域の政治的面についても話合い、関係者に助言する方針で活躍が期待されている。

安保阻止で平和と民主を
……後免で安保阻止集会……

新安保条約は不安があり平和と民主主義を破壊すると南国市の民主団体、労組など、十九団体は六日、後免町日吉神社で「安保阻止国会解散集会」を開き、岸首相と清瀬衆院議長などに対する次の要旨の決議を行なつてから町の中心部をデモ行進し街頭署名運動などを行なつた。

＝写真は日吉神社の集会風景

抗議文

国会に多数の暴力団と警官を導入し強行した会期延長と新安保の衆議員通過をわれわれは断じて正当なものと認めることは出来ない。新安保条約が国際緊張を増大し、国内においては軍事力の増強、生活の圧迫、民主的諸権利の抑圧、核兵器の持込、海外派兵の危険を生じ諸国民との友好を阻害する。

然るに国会での審議も未だ充分なされず、議会主義を根底より否定し、戦后十五年にわたりつくられた民主主義の最大の危機を招くに致つた。その責任はあげて岸内閣及び与党にある。よつて

一、岸内閣の退陣と国会を即時解散すること
一、国会での決議はすべて五月十八日以前の段階へもどすことを確認せよ
一、U2型ジェット機を即時撤去させる

以上三点は良識ある全国民の声であり、政府与党は早急に処置すべきが急務である。我々はこの大集会の名に於て強く抗議する。

ケシの栽培は許可がいる!

ケシはアヘン法の規定によつて、免許を受けなければ観賞用としても栽培することができません。(一部例外あり)

植えて悪いもの

セチゲルム種＝日本には少い。

ソムニフェルム種＝花が大きく、(50〜150cm)で葉も大きく、下葉はふちがノコギリ状で、葉のつけ根は茎を抱き込んでおり、葉や茎の色は白緑色でロウを塗つたようにみえます。

簡単にいうと植えて悪いものは葉に毛がありません。

植えて良いもの

シャリーポッピー種＝ヒナケシといわれよく知られている。

オリエンタルポッピー種＝ヒナケシよりいくらか大型で葉は深く切れ込み、全体が白いゴウ(剛)毛でおおわれています。

厚生係(市民課)福祉事務所へ

これまで市の厚生事務は市民課に厚生係をおいて取り扱つていたが、さる六日市福祉事務所に移管された。

川北印刷優勝
市長旗ソフトボール

市教委主催、第二回市長旗争奪ソフトボール大会は五月七、八、十五の三日間にわたり長岡、大篠両小学校グラウンドで行なわれ、熱戦の結果川北印刷チームが優勝した。

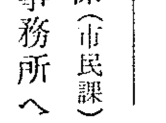
川北4A―1日章

稲生婦人学級へ
文部省の研究委嘱

稲生婦人学級(中沢道子会長)は三十五年度の文部省委嘱婦人学級の研究指定を受けた。

それとともにこのほど土長教育事務所、市教委事務局代表の助言を得て開設について話合い、一人もれなく参加するよう映画をもつて各部落を巡回し呼びかけている。

なお研究科目は婦人たちの希望によつて決めるようになつており、入学願書には夫、または家族の保証が必要。



何々の日とか何々週間、やれなんとか月間まアようそんな文句があるものだ。やれ今日は何の日か?思いだすのも実にまどろこしい。六月一日「電波の日」、四日「むし歯週間」……。▼ひどいのは七月だ「安全週間」から始り「夏の健康を守る運動」、「社会を明るくする運動」ともなれば七月一杯だ。よくばつた話だが「自然に親しむ運動」ともなれば七月から八月にまたがつている。▼ようはそんな週間よりも実行することが大切ではないか、実行しないからうたい文句があらわれいやに目に付く、結局は社会をかたち作る一人一人の自覚を待つより外にはない。四六時中いつも心に刻みこんでいなければならぬ事柄があまりにも多い。▼みんなが実践で明るい社会を育ててゆくための鉄則を守つてゆくならば、週間のない週間ができ、そのような緒はのけることができよう。▼青少年の犯罪がますます増加の傾向にある。子を持つ親の誰れもが考えのそんでいることは、真面目に成人し一家をたてゝもらうことである。そのような親の心にもやはりすき間がある。自分の子は大丈夫だという心である。▼勉強は勉強でも実際社会科の研究としやれてくる。自由は自由でも放任の自由でなくきびしい愛と責任のある自由でなくてはならぬ。子供は東京の一流大学に、汗水流がして自慢していると、〇〇運動とかで時代のちよう児となつている。全学連の委員長のような話など、大学になんのために入つたのかもちろん勉強のためだろうが、親の心子知らず、実にとんでもない盲点があつたものだ。

市民の声

市当局や議会、または個人同士の攻撃にならぬご意見をおよせ下さい。
締切り＝毎月二十日　宛先き＝市役所内広報係

とどかぬ広報

広報は発行されてみると必要となつてきた。ところが、七号はすでに発行されているのに三十一日現在、わたしたちのところにはとどかない。これはどうしたことだろう。

市役所にも、広報委員会にも連絡してあるのに。市民のために発行されたものは、市民全部にゆきわたるようにしてもらいたい。またこんどのものは、どういう理由で届かないか、その理由をたずねる。（中町・寅）

広報委員会から

広報の配布についての質問ですが、広報は、市役所より連絡員を通じ、各家庭に配布されています。

現在のところ月の十五日を目標に編集発行していますが印刷その他の都合により一両日ぐらい遅れることがときたまあります。

印刷所から納入された広報は、一日も早く配布するためその日のうちに各地区に郵し、小使さんより連絡員を経てみなさま方におくばりしていますが、早い部落ではその日のうちに配布されている処もあります。すくなくとも連絡員の手許までは、発行の二〜三日後にはとゞいているのが普通で、とくに市役所（本庁）の付近はその日のうちにとゞいているはずです。

七号広報は、五月十七日に発行しました。広報の記事には期限のあるものもあり当委員会としても、なるべく早く皆さまの手許にとどくよう、努力はしていますが、何分末端までは手がとゞきかねますのでくわしいことはわかりかねますが、何かの事情によりおそくなつていることもあろうかと考えられます。

とくに次号の編集にかかつた五月の末に、まだ配布されてないとは、委員会としてはげせないことです。

早く市民の方に配布されるよう委員会としても大いに希望し、声を高くしてお願いするものです。

国産の新農薬を

南国市は高知県第二の都市であるとはいえ、稲を作つている面積が大部分である。この稲に使用する農薬の大部分が外国生れである。種籾の消毒に使うウスプルンがそうであり。BHCがイギリス生れである。めい虫の特効薬ホリドールがドイツのバイエル会社製である。このホリドールは虫にもよく効くが人間にもよく効くのはご承知の通り。

これがもう少し人間に害が無く、虫に害をあたえる薬はできないだろうかとは誰もが考えたところであつた。それが今年はデイプテレックスという新農薬が出て盛んに使われているが、これもまたバイエル会社の生れである。

日本で一番多く栽培され、一番重要である稲の特効薬くらいは日本で発明されてもよさそうなものである。それが稲を作らぬドイツのバイエル会社の助けを借りなくてはならぬとはなさけない話ではあるまいか。

日本を守るために一機五億円のロツキードも大いに必要であろうが、日本人が生きるために米も大いに必要である

私はせめて新農薬の研究費に一億円も使えば人間には害がなくて害虫にはよく効く特効薬ができると思う。（一農民）

がまんができない

ラジオ、テレビも近所の迷惑を考え気を配つて聴取しあつているのに、これはまたわがもの顔にほとんど毎日拡声機映画宣伝をやり付近の住民を泣かせているところがある。

ある劇場だ。商売であればある程度止むを得ないとしても、午後四時ごろから映画の初まるまで民家にスピーカーを向けて同じ曲のレコードをくりかえしてやられては話も出来ない。ようやくねついた子供は飛び起き、児童は勉強は出来ない。

自分のため人に迷惑をかけることはゆるされない。（久礼田・一住人）

主張　時のみかた

六月十日は時の記念日だつた。こうして毎年〃記念〃の日を迎えているのに会合などの定例が守られることは少ない。

五時始めといつても半時間はおろか、一時間はザラだ。

おくれる事情はいろいろあろうが「どうせ時間は守られないからおくれていこう」ということが大きい原因になつている気もする。汽車に乗りおくれまいとするような気持ちをほかのことに持てぬものか。

南国市議会でも議員は開会を待ちかねているのに、執行部が姿をみせず開会できないこともあつた。いやしくも議会である。事情があつてーというようなことを理由とすることは許されない。生命、財産などに対する変事でないかぎり議会の開会時刻は優先するというほどのところ意気を持つてほしい。

また時間を大事にすることは、定刻を守る〃ということだけではない。

たとえば、南国市議会でそう重大でないことをいい張つてずいぶん時間を食うことがある。

当事者は平気だが、第三者が聞くと「理くつのための理くつ」とみえるものが多い。

市発足後すでに半年。ここらあたりで生彩とスピードのある議会運営が望ましい。

この望みは時間にまつわるとともに広い意味を持つことを考えてもらいたいものだ。

わたしたちは〃今の時間〃が大事だ。よいたとえではないが〃いま〃の経過はそれだけ死に近づいたことになる。

こう考えると時は実に貴重になつてくる。

時間を守ることで有名だつたのは、かつて旧町村内の各種団体代表有志で組織されていた嶺南会だ。

いま再組織の準備をしているが当時はよく時間を守り定刻に顔を見せないものでも十分以上おくれたことはなかつた。

だから話合いが進行していても、ほかの会でみられるような、おくれた人のために同じことを繰り返して話す必要がなかつた。

話合いのさいそれほどの事情もないのにおくれてきてさも当然のようにすでに話合つたことを聞くほど無礼なものはないし、またての抜けたことはない。それもひとかどの人物であるほどこの我を強くする。

〃時は金なり〃とは古いことわざのようではあつてもロケツト時代のいまも通用することを考えよう。

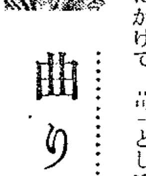
農地買売、転用申請は月末までに

このころ、農地の買売と転用の申請が多くなつてきたが、農業委員会農地部会では、これを審議するためこんど、毎月上旬中に会を開いて申請者の要望にそうことになつた。

よつてこれらの申請は毎月末日までに農委事務局へ手続きしなくてはならない。

市内の産業関係で知りたいと思うことがあれば、広報委員会へ質問をお寄せ下さい。紙上で解答致します。（締め切り毎月末、住所と氏名を忘れぬように）

曲り角にきた米作



香長平野での米作りは、いまたしかに曲り角にきている。といつても多くの農民たちにはまだ実感として受取れないかも知れないが、こゝ数年後にはおそらく名物の二番稲がすがたを消さないまでも、半減するのではあるまいか、そういう不安が現実にたかまりつゝある。

農家は数年来、豊作ブームに湧きたつてきた。戦争のさ中から戦後にかけて、苛酷な供出を強要されてきた農家に取つて、米の生産過剰などいうことが事実として受取りがたいのは当然のことだが、効果的な農薬と農機具を使用することによつて、一作十俵の夢が案外簡単に実現したからである。

そして一躍消費県から生産県へとのしあがつてきたのは農民達の手柄だが、こんどは逆にみづからの手柄に苦しめられるような事態が持ち上がつてきた。

今年の供出米の条件は、俵装選別と全く農民泣かせというほどの厄介しごくなもので、百俵もこれをするということになると頭痛のタネになること請け合いである。

なぜ供出米の条件がそれほどむずかしくなつたかといえば、それには大きな理由がある。生産県になつたとはいつても、仮に県内で自給自足すれば余剰米はいくらもないはずだが、早生の劣等米に対する県内消費者の配給辞退ということが、理由になつている。

早生米の配給を辞退して県外の優秀な闇米をとうという現象は、過分な余剰米をそこに生み出すことになる。いきおい県の当事者としてはその劣等米を早場米として県外へ移出しなければならないのだが、移出した結果は大不評を買つて、高知県産米は以後一切買わないというほどの嫌われようで、大阪市あたりの街の主婦連が不買同盟を結んでいるとのことである。

劣等米よどこへゆく――こんご天災による不作が何年もつづかない限り、劣等米のゆくべき場所はないであろう。しかし安ければ買おうという声はあるようだ。

品種による価格差は明年あたりからは避けられないと断定する人さえある。

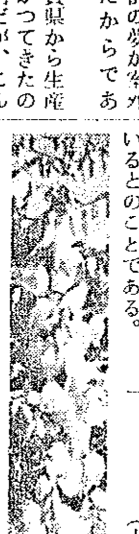
早生稲と二番稲合算して反当十五俵。夢よもう一度といつても、その夢は二度と訪れてこないのではあるまいか。時の流れは早い。わが香長平野の米作も早生から中性の優良米へと、だんだんに移行してゆく運命にあると私は考える。（十市・梨夫）

ブドウ栽培講演会

日時　六月二十九日（午前九時〜午後四時）
場所　後免野田小学校講堂
講師　葛目忠雄氏（熊本市葛目ブドウ研究所長）
演題　暖地におけるブドウ栽培について（営利品の選択、肥料管理の特異性ほか）
主催　南国市産経課
　　　南国市果樹研究同志会連合会

六月の稲作

南国農改普及所



平坦部

（早稲）上旬よりほとんどのものが幼穂形成期に入るから水を充分入れ干さないようにする。

（中稲）中間除草をする。田植え後40日ごろまでに終り、2 4 Dの使用も同様。水はつとめて浅水にし、田植え後40日ごろ（6月末〜7月5日）中干しする。穂肥は幼穂がみえる程度のとき（7月20日ごろ）窒素500匁（硫安は2貫前後）と加里1貫（塩加は1.5前後）をまぜて使う。

跡作と二稲

〔播種期〕6月20日〜25日

〔播種量〕坪（3.3平方メートル）2合

〔苗床〕まずたがやして石灰窒素カルなどをやる。肥料は坪当り基肥が窒素1〜3匁、燐酸10匁、加里12匁（塩加で20匁くらい）窒素肥料は生育に応じて追肥するのが安全。覆土後のモミガラ撒布は控えるがよい。

発芽して青味を帯びるまではとくべつの場を除き床面にカン水しない。

発芽後ツマグロヨコバイ、ヒメトビウンカなど防除のため、5日ごとにマラソンを撒布する。

イモチ防除のためはやめにセレサン石灰を撒布する。

山間部

（早生）6月中旬が幼穂形成期になるから肥料不足のものは穂肥をやる。（ところによる差があることに注意のこと）ビニール畑苗代の苗などの吸肥力の強い苗を使つたものは、秋落ちしやすいから注意し少し多目にやる。

紋枯れ病やイモチが発生し始めるから防除に万全を期さなくてはいけない。

（中稲）活着後水はなるべく浅くする。6月上、中旬から分ケツ期になるため肥料をやり、茎数の確保をはかる。

イモチ、アオムシ（フタオビ、コヤガ）の発生がみられるようになるから防除をはかる。

總合開発と香長平野

－2－

浜　田　春　水

これによる運河の減水は各所で中井から落して補給するのであつた。

だが舟入に大物を流下するときは平野への分水口を塞いで水を湛えた。旧平野にとつては、か弱い山田堰に全生命を委ねたばかりでなく、維持の負担が懸けられた。

旧平野にとつては全く勝手の狂つた舟入水系新秩序に切りかえられたことに問題が宿つた。今まで自由になだれこんでいた水利の大転換は水勢に変調を来し、これに応じての人為工作や自然変化など、年の経過と共に諸種の状況悪化の誘因ともなつた。

これまでなかつた後川氾濫もその一つである。

舟入運河は平野西部にも大水禍を招くようになつた。

嶺南先生の記録によれば、天明七年の大津平野附近を中心とした一帯の大氾濫は目を背けるものがある、その他も恐らく同様であつたであろう。

これらは舟入運河下流部設計の大誤断からと想われる。運河は上下山田井や国府田斜面の水までも補水しながら、なんで南下していた大津川の自然流を塞用したのか。（ここに仮た氾濫は大埇関部落以南や時久川下流部にもある）先年新木の堤防が南へ決潰したのも故なきではあるまい。今日のように堤防を頑丈にするだけでは明見、大津などは氾濫区を拡大するにきまつている。

今一つは舟入の分流新川によつて西野々、住吉野、介良野などの開田もみられたが、これまた不用意な設計ではなかつたのか。

原始明見川の胴中が破壊されたのは致命的であつた。さらにその南部に及ぶ一帯の水系旧秩序は完全に新川によつて改変され、野田方面や後免東部以南の氾濫因となつたばかりでなく、近年は道路軌道がこれに追討をかけているし、またこれらの悪化を踏襲したままの堅固な河川工事も施されている。

ともあれ自然に形成された地貌と水理を無視することは許されない。

明治期以来、国県道や軌道が平野上に縦横開通されたが、これは平野産業には背を向けた工法がみられ、平地農家に縁遠い一般交通搬送など他の文化系の施設であつて、従つて環境平野の生理にマツチしない独自の規格をもち、その高い路面や狭い橋下に水を潜らす仕組など、流去水を無視した工法が、これまた平野に痛手を与えている。堅固な路体は表に湛え狂う水と高さを競い、（物部川鉄橋西方国道は先年決潰）農道は縁を断たれたかのように、高い路面を仰いでいる。

長浜浦戸間の道のように、安定感と調和のとれたのは香長平野では見受けられない。

これらは平野悪状態のままで工事されたからでもあろうが、平野改装えと踏切れず現状のままというのであつたなら、将来は平野上の施設が一層と整備増強されるに従い、益々加はる同様の悪化累積に悩嘆の叫びをあげるようになるのは必然だ。

今まで述べたように、香長平野は無秩序な開拓と不合理の寄せ集めであつて、ボロ切れのつぎ合せに仕上げられている。

各地整理された近代平野とは遠くかけ離れた現状は、各所に溢水となつた氾濫もみられるし、無数の堰床や長い引水路によるなど、まことに不合理な水利と失費徒労が繰返されている。一昨年会議の席で、中沢浪治氏が「全面耕地整理」の要を述べられたのも故なきにあらずだ。

概見するに平野上には縦横に用水路が行渡つている。これらは若干の手当で幹支の鋳潜えが容易であろう。そしていくつかの幹線用水路は、時に谷渡（サイフォン）してでも平野高位部を追うて流下せしめ、両翼の低位野面へ自然灌水する仕組が欲しい。

そして野面には溢水の泥濫が現れないように低位部へ誘導排水すべきであろう。これがためには幾派との自然河跡が荒廃の姿で待ちわびている。これには頬かむりで不自然御沙的な排水法は後年へ禍が遺されないであろうか。今まで局所的な排水工事も是認されてはきたが、人工悪化した平野の大勢から成果は顕著ではなかつた

また昨今話題にみられている公社のコンクリート工事も大観的配慮が望ましい。

われわれとしては今次合総開発を機会に、昔ながらの脚絆わらざを脱ぎすてて平野近代化へと踏切る好機ではあるまいか。同時に開発の基本設計にもこれらの面を重視されるよう期待するものである。

（尚本稿は高知大の上森先生が磨きをおかけ下さつたもので衷心感謝の意を捧げたい。）

南国市今月の税金

六月は昭和三十五年度県市民税第一期分の納期（6月1日－－30日）です。
市税務課では下の通り出張徴収をしますからぜひ期限内の納税に御協力下さい。

地区	月日	時間	場所
後免	6月25日	前10時—前11時	成合農協支所
〃	6月27日	正午—後1時30分	黒滝農協支所
〃	6月28日	前10時—正午	奈路農協支所
〃	〃	後1時—後3時	瓶岩農協
〃	6月29日	前9時30分—後2時	上倉農協
〃	〃	前9時30分—後2時	旧久礼田村役場
〃	〃	前9時—後4時	国府農協
〃	〃	前9時—後4時	長岡東部公民館
香長	〃	前9時—正午	朝日町北公民館
〃	〃	後1時—後4時	能間公民館
〃	〃	前9時—後4時	竹中公民館
〃	〃	前9時—後4時	片山公民館
〃	〃	前9時—正午	稲生立石公民館
〃	〃	後1時—後4時	稲生西谷消防屯所
〃	〃	前9時—正午	剣尾公民館
〃	〃	後1時—後4時	岡豊組合
〃	〃	前9時—正午	前浜里公民館
〃	〃	後1時—後4時	前浜中組公民館
後免	6月30日	前9時—後4時	国府農協
〃	〃	前9時—後4時	長岡東部公民館
香長	〃	前9時—前10時30分	伊達野公民館
〃	〃	前11時—後1時	住吉野公民館
〃	〃	前9時—前10時30分	篠原南公民館
〃	〃	前11時—正午	篠原北公民館
〃	〃	後1時—後4時	明見公民館
〃	〃	前9時—後4時	浜改田公民館
〃	〃	前9時—後4時	旧稲生出張所
〃	〃	前9時—正午	大小浜公民館
〃	〃	後1時—後4時	阿戸公民館
〃	〃	前9時—正午	久枝公民館
〃	〃	後1時—後4時	切戸公民館
〃	〃	前9時—後4時	旧岩村役場

岡豊地区は岡豊支所、野田地区、旧後免地区、東崎、西部、宇田、野中地区は市役所本庁え納めて下さい。

守ろう交通ルール

わずか一ケ月の間に、高知県下で一七二人の人が死んだり、けがをしたと言いますと、皆さんは驚かれるでしよう。だが、これは実際のことで、今年の三月中に県下でこれだけの人が交通事故のぎせいになつています。

どうしてこのような恐ろしい交通事故が、毎日繰り返えされるのでしようか。いろいろの原因がありますが、自動車などを操縦する人たちの不注意が原因の大半を占めております。

交通事故をなくするためには、自動車やモーター、バイクを運転する人が注意しなければならない、ということをよく聞かされますが自転車に乗つた人、道路を歩いている人、道路で遊んでいる子供などの不注意によつて事故を誘発したという例は、けつして少なくありません。

車を運転する人、道路を歩く人の区別なく、道路を利用するすべての人が守るべきことを、自分からすすんで実行するようにしなければ、この恐ろしい交通事故を防ぐことはできません。この守るべきことは、交通のルールであります。

このルールに従わなければ交通事故という悲しい結果の生れることは当然のことでしよう。

五月十六日から十日間、春の交通安全運動が全国いつせいに行なわれましたが、このような運動もすべての人が交通のルールを守つておれば、格別とりあげる必要はないと思います。

しかし、現実の問題としてまだ、道路を利用する人のなかには、このルールを知らない人や、守らない方が相当たくさん見られます。

道路を広く使う運動が行なわれたが、改善はまだまだ。おたがいに協力しましよう。

そのような人に、交通のルールを守るように呼びかけ交通の安全と円滑を図ろうとすることがこの運動のねらいでありますから、積極的、自発的な協力を願いします。

酔つぱらい運転、スピードの出し過ぎ運転、わき見運転、車の直前、直後の横断、道路上の立ち話、子供の路上遊びなどは、交通のルールにそむくだけでなく、あなたを交通事故にさらすもつとも危ないことです。

鉄道妨害事故防止運動

国鉄四国支社では、五月十日から（六月三十日まで）鉄道妨害事故防止運動を実施しています。

これは、国鉄四国支社が、六月から新鋭ディゼルカー一〇〇両を投入して、四国の鉄道輸送を、最も近代的な「安くて、速くて、疲れないで、待たずにのれる。」輸送えきりかえるため、列車の速度が非常にスピードアップされ、列車回数も三十分おきに増発されるのでこの画期的な「ネットダイヤ」による列車の運転を安全にするためには、線路支障事故、踏切事故をなくすることが一番大切です。鉄道妨害事故をなくするために市民の協力を得ようというものです。

危険な線路立入りや通行

ディゼルカーは機関車のように音を立てず、速度も速いので、列車の接近がわかりません。線路内に立入り通行するのは大変危険ですから是非やめて下さい。

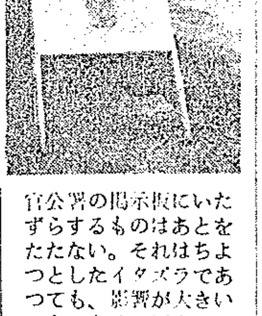
子供のいたづら

子供のいたづらは、三十三年度・六十五件、三十四年度・九十三件に急増しています。

線路で遊ぶことの危険はいうまでもなく、置石は大きな事故原となりますので、PTA、学校、家庭がご指導願います。

踏切の一時停止

市内では無人踏切が沢山あります。通行のさいは人も車も必ず一時停止し、左右を見て渡るよう習慣をつけましよう。


官公署の掲示板にいたずらするものはあとをたたない。それはちよつとしたイタズラであつても、影響が大きいことがある。写真のようなことになると気はずかしいかぎりだ。

転入と転出届出を確実に

七月一日は住民登録制度が実施されてから八年目になります。

この制度が確実に行なわれるかどうかは、市の行政に大きく影響します。

この登録は市町村に居住するものを登録することにより居住関係を公証し、また権利と義務を適正に、また容易にしようとするものです。

選挙、就学、生活保護、徴税など市の行政事務はすべて住民登録の住民票をもとにして処理するようになつています。

登録すれば、その市町村でいつでも謄、抄本や居住証明書が受けれます。住民票による謄、抄本は就職、就学その他いろいろの免、許可書の交付を受ける場合に利用でき、戸籍の謄抄本に代用できることがあります。とくに不動産の登記については、住民票の謄、抄本が必要です。

転入、転出、変更など住所が変つた場合にはその日から十四日以内に届出をしなくてはなりません。届出は新住所の市町村役場（南国市は本庁、支所、出張所）で受付けます。

正当な理由がなくて届出をしないもの、登録にうたがわしいことがあると市町村は事実調査をします。これは関係人に質問し、文書をみせるように求めたりします。

もしこれを拒み、さまたげ、きらつたり、ウソの答えをしたものは五百円以下の過料か罰金を納めねばなりません。

軍人恩給と遺族扶助料請求の時効

二十八年以前の恩給証書を持つているもの、普通恩給や傷病恩給をもつ主人が死亡したあと、遺族扶助料を請求してないものは来る七月三十一日までに手続きしないと時効にかかることになつています。

公務扶助料や遺族年金をもらつているもので家族が死亡または一定の年齢（公務扶助料満二十才、遺族年金満十八才）に達した場合は、金額の改定があるため手続きが必要です。

引き揚げ国債の買い上げ

引き揚げ国債の受領者で生業を持つため資金が必要なものに国債を担保として貸付があります。金額は三十五年度の分を差し引いた残額の九割をかけた額で、利子は年六分です。

また生活が苦しい方は買い上げてもらうことができます。もつともリクがあり、所有者全員というわけにいきませんが、それぞれの手続きや方法は市福祉事務所におたずね下さい。

盗難の防ぎかた

〇家を総留守にしないようにしましよう

子供でも年寄りでもよいから留守番をおくと空巣は防げます。やむを得ないときは近所同志で見張りをおくなどの方法をとることも良いことです。

〇戸締まりを厳重にしましよう。

疲れてグツスリ眠つているスキをねらつて賊は侵入します。出入口はもちろん便所、湯殿の窓も戸締まりを厳重にしておきましよう。

〇玄関先などに高価なものをおかないようにしましよう。

玄関先や軒下などに自転車、クツ、そのほか高価なものを放置しておくことは、シロウトでも容易に盗むことができるから危険です。

〇外を明るく内部は暗くしておきましよう。

屋外が明るいと目的の家に寄りつけません。また、屋内が暗いとはいりにくいから、ぜひ外燈の設備をするとともに、寝ると消燈するように習慣づけましよう。

〇現金や貴重は分散しておきましよう。

現金、貴金属その他とくに高価な貴重品は、タンスや机の引き出しなどにおさめておくと盗まれやすいものです。ちよつとくふうして他人に気づかれないような場所に分散しておきましよう。

（もし被害を受けたら現場をつつかぬようにして警察＝本署は電話南国三番、緊急は同一一〇番＝へなるべく早く知らせましよう。）

盗まれた品を早く取り返し、犯人を捕えることになります。

引揚者給付金の請求

三十二年八月から始まつた引揚者給付金は、ことしの五月十六日で時効にかかり請求権がなくなるのでしたが法の一部が改正されたため、来年五月十六日まで有効となりました。

また手続きをしてないものは早急に市福祉事務所厚生係へお届け下さい。

あなたはネラわれている

夏の婦人防犯

痴漢はオトナばかりとは限りません。中学生ぐらいの少年でも、油断していたらとんだ目にあいます。これを防ぐために、次のことをさつそく実行しましよう。

〇婦人の夜の一人歩きは危険ですからやめましよう。

〇通勤、通学などで遅くなるときは明るい道、人通りの多い道、人家の多いところを選びましよう。

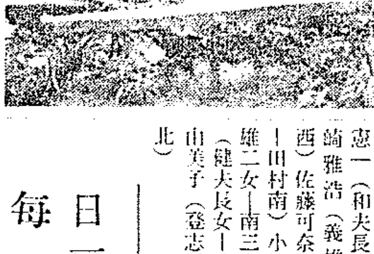
〇ケバケバしい服装、扇情的なコトバや態度を慎しみましよう。

〇不良の誘惑に対しては、相手につけ込むスキを与えないよう断固とした態度で拒否しましよう。

痴漢は、あなたのこころのスキをねらつている。

やむにやまれず、またはなんの気なしに川にすてるチリやアクタは、下流にいくと次々にひつかかり、腐つてくるとますます水を汚染させ、カンガイのじやまをしています。

写真は後免町で流されたものが、大篠小学校北の用水路に集まつたものですが、付近の人たちが取りのけた直後ですから〝たまるか〟と思うほどでありません。でも、ネ…………



日雇健康保険は毎月確認印を

日雇健康保険で医師にかかるときは、受給資格票に日雇健康保険者手帳の印紙数により、その月の確認印を押していることは、すでに知つていることだと思いますが、もし病気で医師にかゝるときは、必ず福祉事務所厚生係で確認印をもらつてから医師にかゝるようにして下さい。医師にかゝつてから前の月にさかのぼつて受給資格票の確認はできません。

また医師も確認印の押印がない月については、療養の給付を開始することができないことになつています。

このようになりますと国からの給付がないので、医療費は自己負担となりますから、注意を要します。それで受給資格票の確認印はその月毎忘れずにもらつて下さい。

出生と死亡

出生

四月下旬

窪田節子（正雄長女―筏原）宮本治（俊明長男―二区）川本佳奈（定男長女―明見）島崎智子（完三長女―朝日町）松本孝（志津夫長男―植田北）岡林美栄（一栄長女―大崎）西山利津子（高弘二女―細工所）山岡由香里（晴一長女―三和立石）井上恵美子（利喜長女―浜田）高木快枝（英次郎長女―久保）土居和香（健男長女―十市土居谷）細川明子（明雄三女―阿戸）

五月上旬

仁尾郁子（誠一長女―中ノ川）岡崎美佐（邦矩長女―天行寺）大川佳乃（道佳長女―久礼田西）浜口容子（健雄長女―西組）浜田泰年（泰雄長男―里組）島田義之（作長男―錦城）横矢崇（勲長男―吉田）西原浩文（定俊長男―八幡）門田真紀（貞二女―桑ノ川）佐藤美香（正範長女―久礼田中）宮田明夫（重明長男―片山南組）岡田潤子（幸正長女―五区）北村俊彦（源長男―本村）池添左知子（岑雄二女―栄町）奴田原恵一（和夫長女―次西）山崎雅浩（義雄長男―七区西）佐藤可奈（貞一郎長女―田村南）小笠原仁美（寿雄二女―南三畠）服部薫（健夫長女―比江東）北村由美子（登志男長女―永田北）

五月中旬

渋谷美智（和一三女―東金地）西村佳江子（昭夫二女―七区東）井筒裕（啓三郎長男―大学）

死亡

四月下旬

北村俊（女87―領石中）

五月上旬

松本久猪（女72―中田）土居重良（男70―西坪池）別役金蔵（男76―吉市）西村久恵（女55―十七区）有吉雪（女78―後免）佐竹夏尾（女68―土睦内）中山照尾（女58―東崎東）野地粟寮（女63―本村南）平山竹（女89―北小籠）宇野元助（男79―住吉野）

五月中旬

楠瀬敏実（男51―田村南）山中勇治（男75―二区）田中金栄（男47―下睦内）池知丈夫（男61―南三畠）池田犬馬（男72―北陣山）宮地岩則（男41―六区西）橋田容子（女3―室屋）大家春治（男61―丸山）大家亀太郎（男84―丸山）

五月下旬

中島時恵（女22―北組）竹内正義（男70―里組）松岡常利（男51―井川）北村久子（女53―土居谷）土居楠之助（男75―糸木）森田輝義（男64―八幡）森本毅（男2月―定林寺）

五月下旬

岡本奈加（女89―田村北）石本清次（男82―国分西）北村実喜（男61―北小籠）甲藤辰夫（男32―城陸）

労仂争議によせて

香南中学校　島内靖

現在の社会は非常に混乱している。新聞に目を通せば「・・・ストライキ」と日本は年中行事の様に騒いでいる。然しストライキなどと云つてやるのは自分達で国の経済を滅ぼし又自分の墓穴を掘る様なものであるという事を忘れてはならない。確かに日本の労仂賃金は安い　それは多くの原料を外国から輸入してそれを製品して輸出しているからである。アメリカなどの様に自分の国に沢山の原料があるので輸出もそれだけ多くなり国はますます豊かになる。従つて賃金も高くなる。これこそ全く理想通りの資本主義経済である。貧乏国で原料もろくにない日本が先進国と同じくらいの賃金をもらおうなんてそれは少し虫がよすぎる様に僕は思う。もし日本が世界の水準にまで労仂賃金を上げたらどうなるだろう。原料を全て買い、なおかつ賃金を上げたら自然商品の値段は高くなるであろう。そうすれば消費者はもちろん他国の精巧で安い商品を選ぶであろう。そうなればいくら労仂者が賃金を高くしても経済の底の浅い日本ではすぐに「インフレ」におちいるだろう。何故現在の我が国の実情を考えて労仂者も現在の貧乏国から豊かな国になつて始めてその願いが達成出来るのであるからしてその辺をよく考えて行動すべきではないでしょうか。労仂者はストライキを行うのが特権の様に思つてやつているがそれが現在のぐらついた政治体制の足をひつぱつている様なものだ。国民の多数が支持し得たこの政治に今少し協力してはどうであろう。日本がストライキをして騒いでいる時でも諸外国は休みなくぐん〳〵進んでいる事をよく考えて一日でも、まじめに一生懸命仂き諸外国に優るとも劣らない、りつぱな経済体制を整えて世界の国々と対等に競争が出来る様になりたいものだ。

わたしのおかあさん

十市小四年　浜口加保子

わたしのおかあさんは、かぶをたばねたり、ゆうがたになるといちごをちぎりにいつたり、つめたりします。あさはやくから、いちごをいちばへもつていつてかえつたら、そうじをして、ごはんのしたくをする。おひるのごはんがすんだらかぶをひく、ほんとうにいそがしそうだ。じぶんも大きくなつたら、おかあさんよりも、もつといつしようけんめいにしようと思う。よるも十時十一時までに、はこにいれてしまう。妹のみえは、ゆうがた四時ごろにねるから、やかましくなくてよいが、五時になるとラジオをかけると日がさめる。おかあさんは六時ちかくなるとすいじにかかる。しごとはすこししかできない。きんじよは四、五人の人がしている。うちは二人だ。わたしは「うちはたつた二人か」。とくやしくなつてくるがわたしも学校からもどつたら、てつだつてやろうとおもう。

私の家

十市小六年　木下泰子

私の家はお父さん、お母さん、兄さん、私しの四人家族です。私とミイは、大の仲よしです。このあいだ子供を四ひきうみましたが、ろくつなネコを生みません。まるもわたしの声えを聞くと、とてもよろこんで、キャンキャンとなきます。私は十市小学校の六年生で大きくなつた時の希望は、できれば大学へ入れてもらいたいが家は、お金がないので、せめて高校までいかしてもらう。高校を卒業すると、スチユウデスになりたい。兄さんは、高知学園と言う学校だが、勉強をしないので、いつも母にしかられている。兄さんのしよう来の希望は何になるかしらないが、父は、「私のような仕事はさせたくない。」と口ぐせのように、いつている。私しには、そのわけがわかるような気がする。母は、家で、はたらいている。わたしたちのため父や母は死に物ぐるいで仕事をしてくれている　お母さんお父さんありがとう。父は夜もねないで、はたらいている。むりをしてでもけいこうとうのすたんどをかつてくれたり、勉強のわからないところは、やさしくおしえてくれる。家にいるとき、日曜日は、たいてい映画へつれてつてくれる。私のうちはしあわせだ。

小中学校作品集

こども達ののび〳〵とした思いや、考えを一つ一つの作品を通してみつめるのも、なんらかの参考になろうかと特集してみた。……

詩　発芽

香南中学校　森恵一

僕達は今発芽なのだ。
健全な二葉を開き
すくすくと伸びる芽
そうだ
それが僕達だ。
虫や台風にやられてはならない
やろう　おもい切りやろう
今のうちだ
何事にも負けず
最大の力を尽して……。

つうちやん

香南中学校　小笠原利元

「ハツハツハツ」。目をさますと同時に弟の朗らかな笑い声が聞こえて来た。僕はさつそく起きて障子を開いた。福の神の二代目のような顔をして「お兄ちやん、しようおそいねえ。」と云つた。六時半に起きたのにおそいと云われて一寸めんくらつたが、つうちやんよりは確かにおそかつたのだ。しかし、当の弟はなにくわぬ顔をして御飯を口につめ込んでいる。僕が顔を洗つて御飯を食べに行くと弟はすでに終つていて、おばあちやんのおひざで甘えている。僕が朝食の終る頃は、もうお父ちやんと相撲をとつている始末。僕もめがねをはずしてお父ちやんにぶつつかつて行つた。ふいを突かれて父は横だおれとなつたので、つうちやんと二人でその腹に乗つたが、その時は愉快だつた。お父ちやんは起きようとして、もがくのだがつうちやんが邪魔で中々起きられない。重荷になつている僕をこそばしてようやく起きた、その勢いで時間割をしていると、つうちやんがかけて来て、「勝つた、勝つた」と喜んでいる。足が地につかないとはこの事だろうと思つた。僕が「行つて来ます。」と云つたら門に立つて「バイバイ」ともみじのような手を上げてこたえる。朗らかなつうちやんは、今では我が家の人気者である。

につけん

十市小学校　みそぶちむつひこ

ぼくと、つよしくんと、かじやの山へ、につけんをとりにいきました。につけんの大きなねを、ないふできつても、なかなかきれません。ちよつととつてもうあきらめてかえりました。かえりがけにたけをとつて、かみでつぼうを、つくりもつて、かえりました。かえつてかみをつめて、ならしたらよくなりました。こんどはみかんを、たべたくなつたので、ぼくのうちの山へ、みかんをとりにいきました。つよしくんは四つ、ぼくは、三つとりました。

短歌集

香南中学校

鉛筆の穂先するどくけずりおり友をあざむきし後の寂しく　一B　東田美智
稲かりを終りて帰る親子等の喜ぶ顔に日が登りつく　一C　浜田昌秀
連山の雪よりおろす風割りてしじみ堀るらし子等かけぬける　二A　浜田生子
こけむしし祖父の墓標の細き字を指でたどりて一字づつ読む　二B　井上清志
夕飯のすき焼きなべにつみ草のせりのかほりのほのかなる今日　二C　北村知子
労働につかれし母を見る夕辺苦が笑こしては涙ぐむなり　三A　能勢富恵
日記帳今日もしるさず夏の午后ぼんやりときく秒針の音　三A　浜田宇田子
朝がたの浅き眠りに亡き父のやさしき顔を夢に見にけり　三B　岡崎俊彦
流れ行く雲を眺めて今日もまた暑き日なりと打水をする　三C　北村尚臣

おかあさん

十市小四年　前田豊

四月十日は、おかあさんのたんじよう日です。それでおかあさんになにかおくりものをしようと、おねえちやんとそうだんし、おこずかいをだしあつておかあさんに、げたをかつてやりました。おとうさんのたんじよう日は二月十五日です。それでおとうさんのたんじよう日はすぎているので、おとうさんと、おかあさんと、いつしよにたんじよう日をすることにしました。おとうさんには、小さな、おさけのびんをひとつかつてやりました。こんばんおかあさんに見せたら、大へんよろこぶだろうと思います。

◁詩▷　バラ

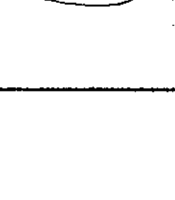
香南中学校　安弘貴美子

バラの木は
今
静かに眠つている
黒ずんだ灰色の枝々は
まるで
枯れ木のように
じつと冬を耐えている
しかし
春になると
新しい芽をふき出し
葉を出し
つぼみを出す
そして
色とりどりのかわいい花を
咲かせ
私の心を
ほのぼのとあたたかくして
くれるだろう
バラ
そのバラは
今・静かに眠つている

黒板ふき

香南中学校　中島君代

黒板ふきで黒板をふいた
いつぱい書いてある字が
すいこまれるように消えた
むづかしい数学の問題も
国語のかんじもみんな
黒板ふきはきれいに
すいこんでいく



かちようくらぶ

香長中学校　三和分室三年

新緑や朝日に光る水の玉　西村勲
かげろうのもえる浜辺の昼下り
菜の花の香りをのせた風が吹く　山崎薫
電線の少したるみて風ぬるむ　高本幹雄
映画見に行く道筋をほたる飛ぶ　星川敏
あやめぐさ雨にうたれてうなだれて　岡田一男
しとしととあじさい雨にぬれて咲く　中沢たけ美
いちご熟る今年も友の家を訪う　溝淵克子
やわらかく若芽の上を渡る風　竹村清美
いちご摘む代手をとかげ走り去る　杉本直子
たんぽぽや朝はけぶれる海の色　松本春恵
教室の窓ごしに見る田植かな　竹内好子
やわらかに若葉のにおう下に立つ　福井和子
カーテンにかげろうゆらり立ちのぼり　西山富子
あやめ咲く小路を足のぬれるまま
麦の穂の波をうたせるだけの風　白木幸男
新学期ランドセルにも夢がある　川村章彦
顔に陽を浴びつゝ読書冬の朝　小田文雄
稲刈りの朝の光を背に受けて　西山忠男
井戸端にむつくりと出るつくしかな　山岡一博
黒土に植える早苗のみどりかな
竹の子をひよいと見つけたうれしさよ　中田武
コロコロとかえるの声の空高く　栗田道子
夕涼み空一すじの星流れ　大村操
田植田のあちらこちらしまのよう　松木紀美子
軒下につばめの通う宿がまえ　森岡静子
小春日や猫もとろんと生あくび　中田昌代
春の雨早乙女の笠田に続く　松本美子
れんげ田やあかきじゆうたんしきつめて　松下伸子
夕焼くる空ははてなくひろがりて　八松絹枝

文芸　霧の中で

"生きるつて事は素晴らしい事だよ"
死の床の白いシーツの上で少年はつぶやいた
霧が——深く渦巻き
あせびの花が抱込まれて、あえいでいた
少年の言葉はかすかな余韻を残し
空に分解された
窓の外は深い霧
"何にも欲しくないよ。唯"
幾日とはない生命の冴え切つた瞳を少年は向けた
霧に——"唯何が欲しい？"
あせびの花はもう見えない。ひいらぎのとがつた葉さえも
少年のわずかな微笑が語る事の一切を拒んで居た
窓の外は濃い霧
十七才で昇天した少年は死ぬ前に何が欲しかつたのだろう霧が立ちこめると私はこの問答をくり返す、
何年も……。

金田恵美子

俳句　生れけり

東村耕牛

ふるさとの山に雲はれむかえられ
雛倉の椿は海へ日脚のぶ
足摺の海より星の生れけり
したり落つ泥耕牛の田を上る
耕牛の猛々しきをしづめをり
耕牛の心いつしかしづまりぬ
耕牛のいさゝかつかれたる如し
耕牛のぐつと近づき向かわる
ものゝ芽ののぶときにこそもの思う
枯芝のあそこゝにあるうすみどり
風鈴や隣の仔猫きて遊ぶ
ほたる灯の月になりたるうすさかな
しやぼん玉きらきら光り生れけり